

## 要 旨

LaTeX は、論文を執筆する上で、非常に強力な組版ツールである。テキストベースで記述される構造記述ファイル、美しく描画される数式、強力な文献管理システムなど…… そしておまけに Git 管理ができる。なんと便利な！挙げだしたらキリがない。情報工学の学位を修める者として、必ず習得しておきたいスタックの 1 つである。本文書は、岡山理科大学 工学部 情報工学科 片山研究室における卒業論文向けの L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X テンプレートである。本文書をベースとして君たちは卒業論文を書くことになる。T<sub>E</sub>X は、君たちが今まで触ってきた Microsoft Word や Google ドキュメント のそれとは全く異なり、WYSIWYG でない状態で編集しなければならない。しかし、ここで怯まないでほしい。君たちは訳のわからないまま ”printf 関数” を習得し、変数の表示を行い、エスケープシーケンスを使いこなして来た。そうでしょ？ T<sub>E</sub>X も本質的には何も変わらない。一定のルールに則って自分の作りたい文章を組み立てて行くだけである。これを苦労なくできるようになった暁には、立派な Word アンチの誕生である。さあ、この駄文を削除して、君の論文を書き始めるのだ。ほら早くキーボードに手を置いて Shift + ↑ で全選択して消すんだ。幸運を祈る。

## キーワード

T<sub>E</sub>X, L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X, テキストベース組版システム, 卒業論文